



ホームページ▶

ふるさと上越 🔍

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL: 03-5244-5138 FAX: 03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL: 025-520-5625



春日山 撮影：小坂恵美さん

「たより」No.317 目次

会員数と

「ふるさと市場」販売報告 1

Jネットの活動とお知らせ 2

同窓会・郷友会コーナー 3

上越の行事 3

◇ なおえつうみまちアート 2026

◇ 第21回 越後・謙信 SAKE まつり

会員ひろば 4

◇ 地域に眠る物語を、動かす。

岡本岳志

俳句ひろば 5

◇ 「善きものに」

宇賀田洋巳

谷浜海岸コーヒー通信 5

瀧川鯉橋師匠 高座予定 6

上越タイムス・上越ケーブルビジョン
(アクセス方法のご案内) 6

上越産品販売のお知らせ 6

JネットHPのご案内 6

話題の新刊本ご紹介 6

上越市からのお知らせ 6

JネットHPのご案内 6

上越市からのお知らせ 7

上越市の食材を使った
イベント開催のご案内 7

上越夏のスナップ 2026 8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員数 511名

(令和8年8月5日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況

令和8年7月 81点 105,444円

※前年同月 85点 170,127円

◆ 8月13日(木)湯島にてサロン開催

雨が降る中、
久々にJネット
サロンに参加し
ました。

当日はお盆の
最中ということ
もあり、参加者
は幹事を中心に
23人と、やや少
なめでしたが、

久々においしい上越のお酒を飲んで、幹事の方の現役時代のお話も伺って、楽しいひと時を過ごしました。

お台場の先の埋立地にある、東京都立海の森公園では、毎週土曜日にガイドウォークを実施しています。
気候のよい日に、ぜひお越しください。

<https://uminomoripark.com/event> 海の森ガイドウォーク

(吉田 元永 記)



新年会以来の参加となった池田克史さんにお話し頂き、その後柿沼さんのギター演奏、今回は朝ドラ「風、薫る」主題歌Mrs. GREEN APPLE「風と町」。

差し入れは、桧野さんから かたふね、祖父江さんから焼酎大宰府、高橋稔さんから会津娘、松倉さんから虎斑霧島、森島さんから越後桜、会長から海苔巻き、有り難うございました。(事務局)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 17:30～19:00 (予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ R8.9月10日(木) ◆ R8.10月8日(木) 17:30～19:00 参加費1,500円

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

東京新潟県人会館アクセス (電車)

●東京メトロ千代田線「湯島駅」5番出口から徒歩1分 ●東京メトロ銀座線「上野広小路駅」4番出口から徒歩5分

●都営地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」A4番出口から徒歩5分 ●JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口から徒歩6分

◆ 第64回 Jネット勉強会 鳩山会館の鑑賞

上記勉強会の要領は次の通りです。

- ① 日時 令和8年9月30日(水) ② 集合時間 10時30分
- ③ 地下鉄有楽町線江戸川橋駅の改札口(1カ所)



今回は、文京区音羽の住宅街に、明治24年に建てられた鳩山会館(旧鳩山邸宅)の観賞です。コンクリート作りの洋館の中に、著名な工芸家小川三知の作品のステンドグラスが展示されており、庭園には多くのバラがあり、参観者の目を楽ませてください。鑑賞後は、近くのレストランで懇親会を行います。会員の皆さまのご参加をお待ちしております。なお詳細は同封チラシをご覧ください。

◆ 2027年度版Jネットカレンダー募集！！

上越の風景・静物、行事や上越再発見写真、あるいは数年前に訪れた上越の写真など、お待ちしております。
(定番の観光スポット以外の写真も大歓迎) カレンダーの表紙や2ヶ月毎の各頁に掲載、場所(行事)、撮影者名を記載します。

横長写真(縦横約2:3の比率)(画素数2MB以上) 9月30日までお願いします。

応募は、事務局 mail : k.miyazato@araip.co.jp 宛てにデータで送信ください。

◆ 東京牧村会 創立30周年記念総会

今回は、創立30周年記念総会です。Jネット会員の皆さんもぜひご参加ください。

開催日時：10月18日（日）11:30～15:00予定

開催場所：上野精養軒 桐の間

会費：10,000円

参加お申込先 Jネット事務局

tel：03-5244-5138 mail：k.miyazato@araip.co.jp



令和7年10月総会時

◆ 東京板倉じょんのび会 総会・懇親会のお知らせ

令和8年度の総会・懇親会を開催いたします。

開催日時：11月10日(火)12:00～15:00 予定

開催場所：東京新潟県人会館

詳細は、Jネットたより10月10日号にてお知らせいたします。

Jネット会員の皆さんもぜひご参加ください。

参加お申込先 Jネット事務局

tel：03-5244-5138 mail：k.miyazato@araip.co.jp



令和7年11月総会時

上越の行事

◆ ～みんなであつなごう～なおえつ うみまちアート2026 2026年8月22日(土)～9月6日(日)

○海の絵こども絵画展 時間：各会場にて異なります

会場：直江津まちなか各所

直江津の子どもたち・上越地域の子どもたちが描いた海をテーマにした作品で、直江津の街中を飾ります。

多くのイベントが開催予定です。下記のURLよりご覧ください。

<https://naoetsu-umimachi.com/events/>



◆ 第21回越後・謙信SAKEまつり

2026年10月17日(土) 11:00～19:00 10月18日(日) 10:00～16:00

会場：新潟県上越市高田本町商店街

高田本町3.4.5丁目商店街を歩行者天国として開催します。

えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン 高田駅下車 徒歩5分
(当日は臨時列車も運行予定です)

試飲代：1日(3,000円) 2日通し(4,000円)

元服祝(2020年10月20日～当日までに20歳を迎えた方 1,000円)

※元服祝のチケットは、高田まちなか交流館内のみでの販売です。

お酒を楽しんでいただくためにも、公共交通機関をご利用ください。

主催／越後・謙信SAKEまつり実行委員会【事務局】TEL：025-521-2627



◆ 地域に眠る物語を、動かす。

岡本岳志(妙高市出身)

高校卒業とともに上京し、東京の広告代理店にて約25年。離れて暮らすことで、ふるさとの奥深さに気づかされました。子どもの頃は日常すぎて見えていなかった、土地と人々の物語。育ててもらったこの地に、なにかお返しをしたい——その答えが、上越・妙高に深く眠る文化・歴史でした。

地域には、価値ある文化・歴史資産がたくさんあります。しかし、地元の善意だけで守り続けることは年々難しくなっています。一方で、本物の日本文化を求める人は、世界中に数多くいます。この両者をつなぎ、文化が動き続ける仕組みをつくりたい。そこで、東京での仕事を続けながら、今春、地元・妙高の関山を拠点に「一般社団法人 Heritage in Motion」を設立しました。法人名には「動き続ける遺産」という意味を込めています。文化や歴史は、ただ守るだけではなく、動かしてこそ未来へ続くと考えます。

その取り組みのひとつが、妙高に300年続く伝承演武を核とした文化体験プログラム「Movement Arts Myoko」です。仮山伏とは、住民が一時的に山伏となって神事を継ぐ稀有な習わし。その代表「仮山伏の棒遣い」は、全国的にも希少な存在です。しかし今、担い手不足により継承断絶の危機に瀕しています。私たちは地元関係者と力を合わせ、これまで地域の中だけで受け継がれてきたこの文化を、外から訪れる人も体験できるかたちにしました。その結果、観光庁の地域観光事業で、全国の優良事例16選にも選ばれました。

この取り組みを通じて、特に印象的なのは、地元シニアの皆さんの姿です。—「あの秘蔵史料も公開したい」「使われていない古民家を拠点に」「自宅の蔵にある器でもてなしたい」—、眠っていた知恵やアイデアが次々とあふれ出し、まるで学生の文化祭のような雰囲気。ゲストに喜んでいただけるのはもちろんですが、何より心を打たれるのは、いきいきと熱を帯びていく地元シニアの姿そのものです。一般的に地域の活性は、「若者・よそ者」が起こすと語られがちです。しかし真の主役は、経験と人脈を備えた地元のシニアだと思っています。これまでシニアの善意で担われてきた神社ガイドや精進料理づくり、小学生への指導などが、対価を伴う「仕事」にもなっていく。シニアが教え、若者が継ぎ、さらに外部から新たな人が加わる。この世代と地域を超えた循環づくりが、私たちの目標です。

地域に眠る物語は、その土地を知り、想う人の手があつてこそ、ふたたび動き出します。上越にご縁のある皆さまが各分野で培ってこられたご経験は、きっとその力になります。お知恵とお力添えを、少しずつでも貸していただけると有難い限りです。もしご関心をお持ちいただけたなら、ぜひお声がけください。—文化が経済を動かす。経済が文化をつなぐ。



関山神社にて撮影



伝承演武「仮山伏の棒遣い」を体験するゲスト

一般社団法人 Heritage in Motion

専務理事 岡本岳志

ご連絡先：t.okamoto@heritagemotion.jp

公式サイト：https://movementarts.jp

※「仮山伏の棒遣い」は、関山神社(妙高市関山)の「火祭り」で毎年七月に行われる演武で、新潟県の無形民俗文化財に指定されています。六人の仮山伏が長刀や太刀を手に、二十二種類の演武を奉納します。火祭りは海の日(17日)の三連休の土・日曜に行われ、今年は7月18日(土)・19日(日)開催されました。来年2027年は7月17日(土)・18日(日)の予定です。

関連イベントが9月5日妙高市であり、JネットHPに掲載中です。

<https://joetsu.gr.jp/> (ふるさと上越ネットワークHP URL)

地域文化を活かした、観光・地域づくり実践セミナー開催！9/5(土)

◆「善きものに」

私は 60 歳から俳句を始めて 6 年になります。松の花という結社に所属し松尾隆信主宰に師事しています。主宰の師匠は上田五千石で、松の花は五千石の理念であった「眼前直覚」を継承し「行きて帰る心の味ひ(循環律)」のある十七音の詩としての俳句を目指しています。大切なのは写生ですが、高浜虚子の曾孫にあたる星野高士が NHK 俳句で分かりやすく説明していました。「風が吹いて葉っぱが落ちる」ではダメで、「風が吹いて葉っぱが落ちない」を詠むのが写生であると。私のような駆け出しは前者の域を出ませんが、知人に奨められて他流試合に挑んだところ、朝日俳壇に入選する幸運に恵まれました。奇を衒ったつもりはありませんが、朝日の社風を意識しなかったといえは嘘になります。結社での作風とは趣を異にします。普段は夏の季節であれば「熱帯夜水流るるに耳立てり」というような句を詠んでいます。選者の長谷川櫂からは「スポーツも交通も速さを競う現代。ゆったりこそが美德」と評して頂きました。さて「善きことはカタツムリの速度で動く」は、マハトマ・ガンジーの箴言ですが、本句のモチーフです。短歌や俳句を嗜む方なら本歌取りをご存知と思います。広辞苑には「和歌・連歌などで意識的に先人の作の用語・語句などを取り入れて作ること」とあります。ただ俳句では類句や盗作と混同されないように独自の視点と飛躍が重視されます。本句では下五がポイントになるわけですが、果たして「悲観せず」が、その域まで達しているでしょうか。直接的で工夫が足りない気もしますが、心情としては世界中の紛争の終結を願っての言葉です。朝日俳壇には毎週約 8 千の投句があるらしいのでビギナーズラックの類いですが「次回の入選はいつになるやら」と独り言ちたら、家人から「新聞に載るために俳句をやっているわけじゃないでしょ」と窘められました。次は句集出版を目指して精進したいと思います。(宇賀田洋巳)

善きものに蝸牛の歩み悲観せず

朝日俳壇 第一席

宇賀田 洋巳



谷浜海岸コーヒー通信

曇り空はイルカの日

日本海は北側。太陽は後ろ。静岡は沼津育ちの主人は方向感覚方角がおかしくなるそうです。

海の家が涼しいのは日本海あるあるかも。

うちも海の家涼しさをめざして日陰づくりには毎日苦心してます。北風 2 メートルの日は本当に涼しい。真夏でもウッドデッキが人気です。

南側は 30℃ を超えていても、ウッドデッキは夏でも爽やか。晴れた日には争奪戦、エアコンの効く室内は空っぽ。

海が自慢だけに、お天気に左右されるコーヒー屋。晴れた日は青い海を観ににぎやかに、曇るとお客様も少なめ。

しかし曇り空はイルカの日、実は野生のイルカをウッドデッキから、店内から見つけることもしばしば。春から夏にかけてはよく見ることが出来ます。

イルカを観に来る方も多く、いつ頃来ますか？と聞かれることも。ここに住んでるミナミバンドウイルカの家族は、およそ 30 頭。たぶん毎日、冬でさえ姿をみせてるんじゃないかなあでも我々が易いのは波が凪いでいるとき海の色が白いときが、「見えたらラッキー」の確率が上がります。

海の色は、空の色を写すから、雲りの時は白い海。水平線さえ見えなくなることもあるけれど、イルカの背ビレは黒く、くっきりと見えやすい。30 頭で飽きるほどジャンプしてくれることもあります。だから曇り空はイルカの日。

青い海も白い海も楽しみ方いろいろ。

海を見にただそれだけで。谷浜海岸コーヒーでお待ちしてます♪



◇9/1(火)～5(土)池袋演芸場・夜の部
時 間：午後4時45分～8時半ごろ
※鯉橋は7時半ごろの出番
木戸銭：3,000円(65才以上2,500円など各種割引有)
主 任：笑福亭里光 ほかに笑遊、うめ吉、
コントD51など出演
お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇9/14(月)「七人の侍」～流浪の落語会～
＜10/20(火)、11/30(月)、12/23(水)＞
時 間：午後1時～3時半ごろ
木戸銭：1,500円
出 演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬
会 場：お江戸両国亭(墨田区両国4-30-4)

◇9/21(月・祝)～30(水)新宿末広亭・夜の部
時 間：午後4時45分～8時半 ※鯉橋は7時半ごろの出番
木戸銭：3,500円(65才以上3,200円)
主 任：雷門小助六 ほかに松鯉、小痴楽、小すみなど出演
お問合せ：03-3351-2974(末広亭)

◇10/21(水)「鯉橋の会 in 上野広小路亭」
午後6時ごろ～8時半、詳細未定

◇10/24(土)登戸 長念寺落語会
時 間：午後2時～4時45分
木戸銭：2,500円(前売2,000円)
出 演：かけ橋、鯉橋、宮田陽・昇、柳橋
会 場：長念寺本堂(川崎市多摩区登戸1416)
お問合せ：044-911-2549(長念寺)



☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～<https://rikuyoh3194.hatenablog.com/> どうぞご覧くださいませ 鯉橋拝

上越タイムズ電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

◆Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① JネットHP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。各社パンフ、取次販売商品一覧（A 4版1枚）を同封にてお届けします。ご希望の方には、ご注文用紙をお送りしますので事務局までご連絡ください。（お電話、メールでのご注文もお待ちしております。）

● 上越特産市場

JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。<https://www.joetsu-tokusan.jp/>

Jネット ホームページ

◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。上越市の四季の写真他、掲載は多様です。
「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードよりご覧いただけます。



話題の新刊本ご紹介

◆「上杉謙信公いざ出陣」 石黒 孝良 著

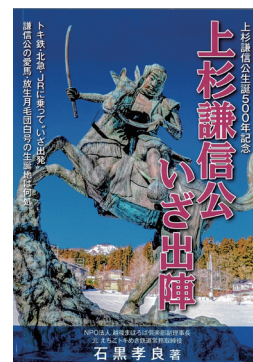
来る2030年は、上杉謙信公生誕500年を祝う記念の年となる。これから様々な取組が行われるが、その先陣を切って本書が刊行される。

特筆すべきは、鉄道路線で重責を担ってきた筆者が、電車で巡り、歴史資料を調べ、写真を撮ってまとめ上げた上杉謙信公の遺徳を偲ぶ内容となっている。

本書発刊にあたってより抜粋（前 上越市立歴史博物館館長 宮崎 俊英氏）

北越出版 税込(2,000円)

春陽館書店(上越市本町4 TEL:025-525-2530)など、主要大手書店で取扱っています。





上越市からのお知らせ

◇WeWork丸の内北口で 「出張！居酒屋上越」を開催しました

8月4日(火)に、WeWork丸の内北口にて「出張！居酒屋上越」を開催しました。

上越市がWeWork丸の内北口に拠点を設けてから3年目を迎え、「出張！居酒屋上越」も今回で5回目の開催となりました。

当日は、小菅市長が参加者の皆さんをお出迎えし、「謙信公祭」や4年後に迫った「上杉謙信公生誕500年」にちなみ、越後上越 上杉おもてなし武将隊が会場を盛り上げたほか、都内で2店舗を展開する人気のおにぎり・とん汁専門店「山太郎」さんの上越市産コシヒカリのおにぎりを提供しました。山太郎さんのおにぎりは大変好評で、かわりする方も多く、米どころ・上越市の味に舌鼓を打たれていました！

また、上越市のお酒やおつまみも提供したところ、市内では日本酒以外にもワインやクラフトジンも製造していることや、味噌づくりなども盛んな「発酵のまち」であることを初めて知ったという声もお聞きできました。

今後も東京都内でのイベントを実施予定です。ぜひJネット会員の皆さまもお越しください！

総合政策課ふるさと応援室 (TEL：025-520-5625)



上越市の食材を使ったイベント開催のご案内 (文京区 / 根津)

◆【上越の食を、東京で】9月12日(土) 根津

「ふるサポ上越」は、上越市産の農産物を首都圏の飲食店へ届ける、上越市農産物等販売促進実行委員会の販路開拓プロジェクトです。

市民の皆様や上越にゆかりのある方のご縁を頼りに、昨年度から都内の飲食店とのつながりを築いてまいりました。

このたび文京区根津の「ねづくりや」様との共催で、上越の食を味わう一日を開催します。雪国が育てた上越野菜、実りたての新米、上越の地酒とともに、今行われている上越市の取り組みの紹介などをお楽しみいただける一夜です。

どなたでもお気軽にご参加いただける居酒屋形式となっております。

みなさまのご参加、心よりお待ちしております。

■日時 9月12日(土) 18:00～22:00

■事前予約特典をご用意しています

■会場 ねづくりや(文京区根津2-22-10)

東京メトロ千代田線「根津駅」1番出口より徒歩5分

■参加費 イベントへの参加は無料、ただしご飲食代は

ご注文に応じてお支払いいただきます(4,000～5,000円程度)

担当：新田 mail：furusuppojo@gmail.com TEL：090-4943-7869

ご予約・詳細は右記の二次元コードよりお願いいたします。



9/12 申込



ふるサポ上越



居酒屋上越（丸の内）、高田 / 直江津祇園祭、高田城址公園の蓮



写真提供

居酒屋上越（丸の内） 小坂会長
高田祇園祭、
高田城址公園の蓮 丸山茂さん
直江津祇園祭 ひぐちキミヨさん

◎次号「たより」は令和8年10月10日の発行です。